

小さな「できた」を積み重ねて、大きな力に。



お子さまの可能性を引き出す、専門的な療育プログラム
児童発達支援・放課後等デイサービス
キッズタウンぱれっと（社会福祉法人こうほうえん）



お子さんの将来のために、
今出来る事を。

私たちの支援方針

- 一人一人の個性や特徴を認め、個々の可能性を引き出す支援を目指します。
- いきなり大きな壁を越えるのではなく、小さな「できた」を積み重ねて、大きな力に変えていくことを目標としています。

地域とともに歩む法人理念 (社会福祉法人こうほうえん)

- 地域に開かれた施設
- 地域に愛される施設
- 地域に信頼される施設

安心して通っていただける環境とサポート体制



ご利用時間

営業時間：12:00～18:00（日曜・祝日・年末年始除く）

児童発達支援：14:00～16:00（平日）

放課後デイ：15:00～18:00（平日）、13:00～17:00（土曜・長期休暇）

※通所は保護者様の責任における送迎をお願いしております。



医療・地域連携

「すこやかこどもクリニック浮間（小児科）」等の協力医療機関、および北区障害福祉課等の行政機関と密に連携し、安全な支援環境を構築しています。



透明性の確保（第三者委員）

苦情解決の客観性を担保するため、地域住民や学識経験者に第三者委員を委嘱しています。（町会長、大学助教、元区役所参事、民生委員など）

総合的な発達を促す「5つの領域」のアプローチ



これら5つの力は、独立しているわけではありません。日々の楽しい遊びの中で、複数の領域を同時に刺激し、バランスよく育むのが『ぱれっと』の療育です。

① 健康・生活 | 日常生活の自立に向けた基礎能力づくり

活動内容

【基本動作と姿勢】

正しい姿勢の保持、日常生活に必要な動作の習得。

【口腔トレーニング（活舌・口腔機能）】

鏡を用いた舌の筋力トレーニング（出す、回す等）、口を密閉する「にらめっこ」遊び。



💡 なぜこの活動をするの？（ねらい）

**「お口の体操」が
コミュニケーションの
土台を作ります。**

舌や口周りの筋肉を鍛えることで、「口呼吸の改善」や「正しい発声・活舌の向上」に直結します。言葉をはっきりと発音できるようになることで、自分の気持ちを伝える自信へと繋がります。

② 運動・感覚 | 身体と脳のネットワークを繋ぐ

活動内容

【感覚統合療法】

遊びを通して「前庭覚（傾きや重力・回転）」「触覚」「固有覚（筋肉や関節で感じる感覚）」へ自然に刺激を与えます。

【粗大・協調運動】

バランス棒、マット運動（ゆりかご、前転）、鉄棒。



なぜこの活動をするの？（ねらい）

目と手の高度なチームワークを養う
「大玉転がし」



①ボールの位置

②職員の動き

③ゴールの位置

大きな物を操作する楽しい遊びが、実は高度な協調運動と脳の活性化のトレーニングになっています。

③ 認知・行動 | 情報の処理能力と、手先の器用さを育む

活動内容



【ビジョントレーニングと運動の融合】：
「矢印ジャンプ」

【微細運動】：ハサミの操作、鉛筆の2指・3指持ち、箸操作、折り紙。

【自己認知】：「イライラバロメーター」を用いた感情の可視化。

💡なぜこの活動をするの？（ねらい）

1. 見る

視覚で矢印の向きを捉える

2. 考える

前頭葉でどう動くか処理する

3. 動く

体に指令を出してジャンプ！



指先の感覚を育む微細運動は、就学後の「ハサミ・鉛筆・箸」をスムーズに使うための重要な準備となります。

④言語・コミュニケーション | 自分の気持ちを相手に適切に伝える



活動内容

【言語発達支援】

単語を繋げる「組み立てる力（文法）」、音の並びを捉える「音韻、語彙力の向上。」

【言語発達支援】

単語を繋げる「組み立てる力（文法）」、音の並びを捉える「音韻」、語彙力の向上。

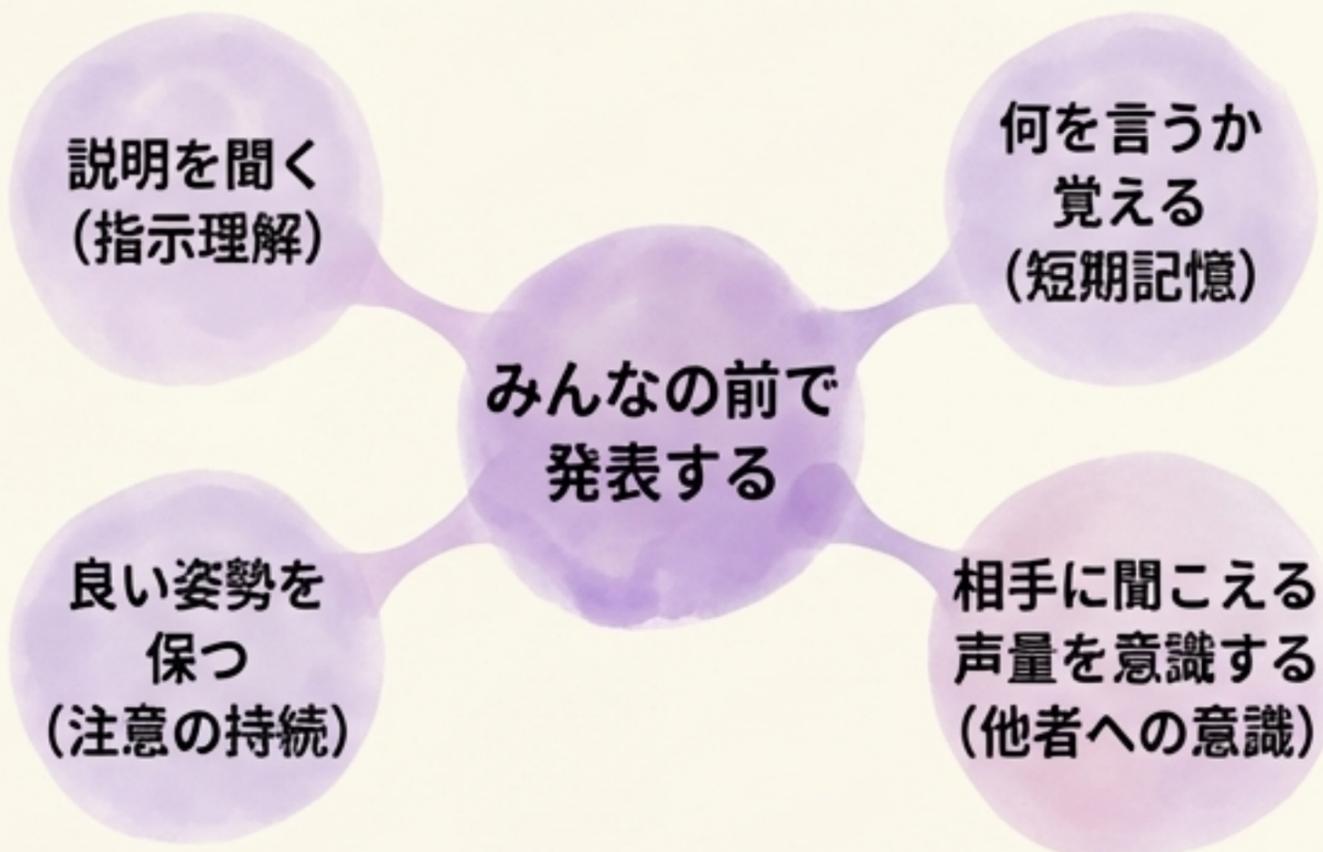
【SST(ソーシャルスキル)】

会話の継続、表情や身振り（非言語コミュニケーション）の習得。



なぜこの活動をするの？（ねらい）

「発表練習」に隠されたたくさんの学び



発表練習は単に話すだけの練習ではなく、複数のスキルを同時に鍛える総合トレーニングです。

⑤ 人間関係・社会性 | 集団の中での「生きやすさ」を学ぶ



異年齢交流を通じて、年下への「思いやり」と、年上との関わりによる「自己肯定感」を育みます。

発達特性による日常の困りごと

【ASDの傾向】
マイルールにこだわる、相手の気持ちが読み取れない

【ADHDの傾向】
順番が待てない、衝動的に動いてしまう

【共通の悩み】
負けるとパニックになる、集団生活が苦痛

💡 ぱれっとのSSTを通じた学び

集団遊びを通じて『他者の意見』に気づき、対人ルールを自然に吸収する

楽しい共同活動の中で、ルールを守って待つことの成功体験を積む

あえて勝ち負けのある遊びを経験し、負けても『まあいっか』『次がんばろう』と気持ちを切り替える練習をする

成長を確実にする「スモールステップ」の魔法

いきなり大きな目標（鉄棒で前回りをすること等）に挑戦させると、失敗が怖くなり自信を失ってしまふことがあります。

ぱれっとでは、独自の「運動療育チェックリスト」を用いて、目標を極限まで細分化します。

職員間で日々の計画を話し合い、子どもたちが必ず「出来た！」という成功体験を重ねられるように設計しています。

運動項目	スモールステップ	コメント
前転	①腕を伸ばして起きる	
前転	②足・腕の力を使って転がれる（伸びて）	
前転	③尻をつきの姿勢で	
前転	④自分ひとりで出来る	
前転	⑤手に体操マットをのせて転転できる	
鉄棒	⑥腕が曲がっているけど小鳥ができる	
鉄棒	⑦膝を伸ばして小鳥ができる	
鉄棒	⑧腕と足が伸びた小鳥ができる	



階段の図解例（マット運動）

療育の質を高める、見えない裏側の努力



1. Plan (計画)

その日の活動内容と目的を設定

2. Do (実演)

支援の実施前に、職員自身が子ども役になって実際に器具を使ってシミュレーションを行う

3. Check (検証)

危険箇所はないか、難易度は適切か、動線に無理がないかを発見する「事前検討会」

4. Action (本番)

改善を反映し、安全で質の高い療育を子どもたちに提供

毎日の安全と「楽しい！」を作るため、各種専門研修（虐待防止、事故防止等）に加え、このシミュレーションを徹底しています。

ご家族と歩む、安心のサポート体制（家族支援）



個別支援計画の策定

保護者様や関係機関としっかり連携し、お子さまの特性や現在の課題に合わせたオーダーメイドの目標を設定します。



成長の可視化と共有

「S-M社会生活能力検査」や独自のチェックリストを活用。漠然とした成長ではなく、「何ができるようになったか」を具体的に評価し、定期的にご家族と共有します。



子育て相談・サポート

家庭での具体的な関わり方や、日々のちょっとしたお悩みに対するアドバイスを実施し、子育ての不安に寄り添います（子育てサポート加算対応）。

小学校生活へのスムーズな橋渡し（就学・移行支援）



ぱれっとでの療育

学習の基礎づくり

集団適応スキル

関係機関との連携

小学校生活

正しい姿勢での着座、鉛筆の保持（2指・3指）、筆圧の調整などの「書字の基礎」。

先生の指示を正確に聞いて行動するスキル、発表の所作、集団ルールの理解と遵守。

小学校等の関係機関と丁寧に情報共有を行い、環境が変わっても「切れ目のない支援」が続く体制を整えます。

将来のライフステージを見据え、
環境の変化に自信を持って適応できる力を育てます。

ご利用案内とお手続きの流れ

利用料金について

児童福祉法に基づくサービスのため、受給者証の利用で自己負担は1割となります。

【重要】 児童発達支援（未就学児）については「幼児教育・保育の無償化」の対象となり、サービス利用の自己負担額は0円です。

※実費負担：おやつ代 150円/回（放課後デイのみ）、創作活動等の材料費。

ご契約・解約について

期間：受給者証の支給決定期間（原則自動更新）。

退所をご希望の場合は、終了希望日の前月1日までにお知らせください。



まずは一度、見学・ご相談にいらっしゃいませんか？

☎ 000-000-0000 平日 12:00~18:00 受付 ✉ お問い合わせフォームはこちら

